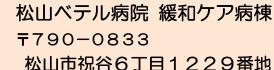
bethel hospice letter autumn

ホスピスだより

tender loving care vol.24



TEL 089 (925) 5000 FAX 089 (925) 5599





● 医療法人 聖愛会松山ベテル病院

http://www.bethel.or.jp

はじめに

皆さまにとって家族とはどういう存在でしょうか? 辛い思いや悲しい思いをしたとき誰の顔が思い浮かびますか? 友人や恋人、学校の先生や職場の同僚…



彼らと共に過ごす時間はとても素晴らしく、彼らとの関わりを通して 学ぶ事も多くあると思います。

家族と過ごす時間も特別なもので自分にとって最も近い存在だからこそ自分の本音 を見せる事ができる…家族とはそういう存在ではないでしょうか。

私たちは日々多くの患者さま・ご家族との出会いがあります。

家族の形もさまざまで家族によって大切にしているものも異なります。

私たちスタッフには見せない一面も家族になら見せる事ができる、そのような方々を たくさん見てきました。

今号では2組のご家族を紹介します。とても家族愛に溢れた方々です。 是非その愛あふれる、あたたかい瞬間に触れてみてください。

まずは新任の先生・チャプレンの紹介をさせていただきます。



初めまして。

奥村淳子(おくむらじゅんこ)と申します。 今年の7月より、ホスピス医を志し、松山 ベテル病院に勤務しております。専門は 麻酔科です。主に県内の総合病院の手術 麻酔をしておりました。

縁あって、介護者人保健施設長として 約6年間勤務し、認知症サポート医となり、 施設内の認知症診療・ケアのほか、認知症 への理解の普及・啓発のため地域で認知症

カフェ・認知症講座なども行いました。その間、ある利用者さまを自宅で看取ったことをきっかけに、在宅診療・在宅療養支援の重要性を痛感し、訪問診療・緩和医療に転向しました。

松山ベテル病院は、外来診療・訪問診療(往診)・入院・在宅療養支援・ホスピスホットライン(体調不良時連絡)など、一人の患者さまに、一人の医師が一貫して関われる体制があります。看護師・相談員をはじめ、多職種の連携・機動力・専門性は高く、患者さま・ご家族の意向・病状に合わせて、多様に適切に医療・ケアや生活支援がなされています。開院当初から受け継がれているホスピタリティの精神や全人的医療・ケアは、長年の多くの先生方・スタッフの熱意と努力の賜物と思います。

好きな言葉は『Keep on going!』。尊敬する日野原重明医師(105歳まで現役だった聖路加国際病院医師)の言葉です。常に前向きにできる何かを考えながら過ごしたいと思います。それが、待つことだったり、祈ることだったり、、、ということも多くあります。松山ベテル病院の一医師として、患者さまの体や心のつらさに寄り添い、症状緩和につとめ、『わかってくれる人』になれるよう、感謝の気持ちで、診療にのぞみたいと思います。よろしくお願いします。

こんにちは。

チャプレンの佐々木真理(ささきまこと)です。 私は2019年4月から松山ベテル病院に来ました。 最初の頃は緊張していましたが、少しずつ病院の中で 患者さまと一緒にくつろげるようになってきました。 今回は、患者さまに教えていただいた松山ベテル病院の ホスピスでのくつろぎ方を紹介させていただきたいと 思います。

紹介役は、じゃこてんさんにお願いしたいと思います。 じゃこてんさん、よろしくお願いします。





はーい。ぼくは、じゃこてんさん。 いつもチャプレンさんにくっついて、チャプレンさんの様子を 見てるんだ。ここからはチャプレンさんに代わりぼくが松山ベテ ル病院のホスピスでのくつろぎ方を紹介するよ。

くつろぎ方 その1

自分のベッドでゆっくり過ごす

病室は患者さんが自由にできる空間。自分の好みに合わせてお気に入りの写真を貼ったり、お花を飾ったりして、くつろげるように工夫しているよ。大部屋であっても、カーテンの中は自分の空間だから、それぞれの患者さんの個性が出ているんだ。チャプレンさんは、希望された患者さんの病室を訪問しているんだけど、患者さんは自分のベッドで楽な姿勢をとって、チャプレンさんといろんな話をしていたよ。

くつろぎ方 その3 テラスでのんびり過ごす

松山ベテル病院のホスピスには、明るいテラスがあるよ。テラスでは、ボランティアの方が手入れしている草花がいつも元気に咲いているよ。

ぼくのお気に入りは、テラス前の廊下に置いてある椅子。晴れた日にこの椅子に座ってのんびり外を眺めると、気持ちいいよ。だれかと二人で座ってのんびりお話するのもいいよね。通りかかったスタッフのみなさんも、優しく話しかけてくれるんだ。

フのみなさんも、優しく話しかけてくれるんだ。 廊下の椅子なら、冬でも凍えることなく外の景色 を楽しめると思うよ。



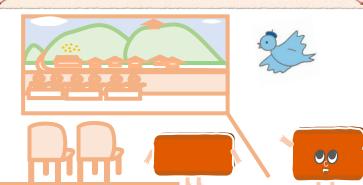
くつろぎ方 その2 お茶会で楽しく過ごす

松山ベテル病院のホスピスでは、毎週 月曜日と木曜日にお茶会があるんだ。

ボランティアの皆さんが、お茶やお菓子を出してくれるんだよ。入院したばかりの患者さんも、ベテル病院のお茶会の温かい雰囲気に包まれて自然と笑顔になるんだ。







どうだったかな。松山ベテル病院では、患者さんとスタッフが一緒になって、いろいろなくつろぎを見つけているんだ。

ぼくも、みんなが安心して過ごせるようにチャプレンさんと一緒にお祈りしているね。

~サプライズ~

"もう少ししたら主人の誕生日だからその時にお祝いしたいな。"

とても仲の良い2人はいつも一緒。お互いにとってなくてはならない存在。

2人を見ていると私たちまであたたかい気持ちになります。

スタッフと共に時間を共有する中で少しずつ病棟での生活も慣れていき、お互いに名前で呼び合う中に☆

そんな中、彼女から「パパにお祝いしたい」と話してくれました。

試行錯<mark>誤し</mark>て考えた結果、"たくさんの写真と夫へのメッセージ"を送る事に<mark>なり</mark>ました。

スタッフと過ごす中で見せてくれる素敵な笑顔。

旦那さんと二人で過ごす楽しい時間。

たくさんの素敵な笑顔を写真に収めた一冊の本を作製しました!

誕生日当日・旦那さんを呼び、スタッフも一緒に誕生日会を実施、

"今日はパパの誕生日!おめでとう!"とご本人から夫へ本が送られました。

サプライズは<mark>見事成功!</mark>夫の頬にはキラリと光る涙☆

旦那さんからは"今までの誕生日で一番嬉しい誕生日になりました"とお言葉をいただきました。



appropriate propriate propriate propriate

スしぶりに奥村先生と散歩に来ました。 先生とも綿密な打ち合わせ…

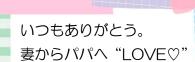


いよいよ待ちに待ったサプライズ! お誕生日おめでとう!パパいつもありがとう♡ 彼女の想いが伝わりますように…



素敵な誕生日になりました! 最後にみんなで記念撮影☆















~心と心で繋がる~

"看護師やってて良かった…"

誰もがそう思えた瞬間でした。

患者さま・ご家族からのお手紙は私たち医療従事者の心を励まし、勇気づけてくれます。 そして時に自分たちの看護師としての"在り方"についても考えるきっかけにもなります。 心を込めて接すれば心で応えてくれる。

私たち一人ひとりの看護は患者さま・ご家族の"心"のケアもできているんだな、 そう思えた瞬間でした。

心のこもった素敵なお手紙をありがとうございました。

ご主人が撮影してくれた写真には"優しさ"と"愛"がそこにはありました。





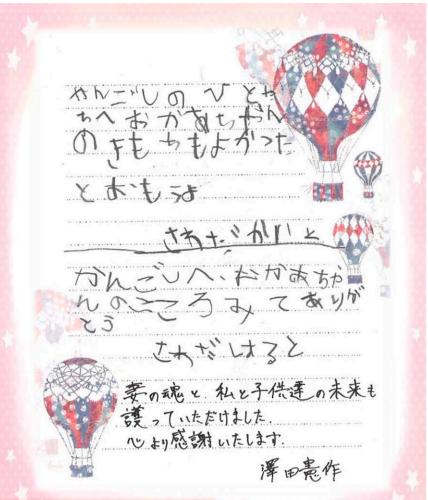








XXXXXXXXXXX











ボランティア募集しています!

病室へのティーサービスにご奉仕くださる方、病棟のお花やベランダの園芸のお世話をしてくださる方、こもれびの森のお手伝いをしてくださる方、チャペルでのレクリエーションにご協力くださる方等々。 ※心身ともに健康な方で、定期的・継続的に活動いただける方の問い合わせをお待ちしております。

TEL: (089) 925-5000 FAX: (089) 925-5599

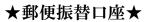
E-mail: <u>volunteer@bethel.or.jp</u> (ボランティア委員会 担当:森)

ホスピス献金をお願いします!!

ホスピス献金は、緩和ケア病棟等の援助など、聖愛会の 諸活動の援助の為に聖愛会に寄付としていただいております。 皆様方の温かいご支援をお願い申し上げます。

★現金送金★

〒790-0833 松山市祝谷 6 丁目 1229 番地 松山ベテル後援会(松山ベテル病院内)



口座番号:01610-2-25364 名義:松山ベテル後援会 ※「ホスピス献金」として献げる旨と「金額」をご記入ください。



編集後記

秋季さわやかな良い季節になりました。

当院の庭でも紅葉が美しく、また花たちも美しく咲き誇っています。

今号ではさまざまな家族の形を中心に紹介させていただきました。

患者さま・ご家族との関わりからはいつも多くの事を学ばせていただいています。

これからも皆さまが笑顔になれるよう創意工夫していきたいと思っております。

今後も随時ご紹介させていただきたいと思います。どうぞご期待ください。

ご協力いただいた皆さまには深く感謝いたします。

担当:佐々木・神山・寺田・二宮